

第 21 回医療情報技師能力検定試験における出題ミスについて

本学会が実施する第 21 回医療情報技師能力検定試験（2023 年 8 月 20 日実施）において、医療情報システム系の科目で出題した試験問題（1 問）のなかに、択一問題であるにも関わらず、複数の選択肢が正解となる出題ミスがあることが判明しました。

この問題については、正解となる複数の選択肢のうちのいずれか 1 つを選択していれば正解として再採点を行いました。この結果、合格基準に達した方については、「合格」と判定しました。受検いただいた方々をはじめ、関係する皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 該当する科目・設問および採点上の対応

科目：医療情報システム系 設問番号：問 42

問 42. オンライン診療について正しいのはどれか。番号を解答記入欄（ 42 ）にマークしなさい。

- 1) 暗号化通信が要求されている。
- 2) 医師は研修の受講が必須である。
- 3) 録画することが推奨されている。
- 4) 一般の TV 会議システムはりようできない。
- 5) 電子カルテ端末で実施しなければならない。

採点上の対応：選択肢 2) のみを正解としていたが、選択肢 1) も正解とする。

2. 受検者のうち該当する者に対する措置

医療情報システム系の受検者のうち、問 42 において選択肢 1) を選択した者 822 名に対して 2 点を加点する。これにより合格基準（66 点以上）に達した者 37 名の合否判定を「不合格」から、「合格」に変更する。また、すべての科目が「合格」となった受検者 8 名は、「医療情報技師」として認定する。

この措置によって、科目「合格」となる方には、合否判定結果通知書を再発行させていただきます。また、「医療情報技師」として認定される方には、後日、医療情報技師の認定証を送付させていただきます。

なお、科目「合格」とならない方は、「医療情報システム系」の成績が変わりますが、合否判定結果通知書の再発行は行いませんので、ご了承ください。